

# 下町河川 Tomorrow



東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成23年1月24日（月）

## 第40回（第6期第6回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子

- ・「第40回（第6期第6回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時から午後4時30分の約2時間半、東京都第五建設事務所・江東治水事務所1階会議室にて開催しました。
- ・都民委員11名と行政委員9名が参加しました。⇒名簿は6ページ
- ・「小名木川護岸整備（案）」として、元水上バス艇庫整備の考え方が提示され、議論しました。
- ・「旧中川の散策マップ」について、前回に引き続き協議しました。

## 議題及び情報提供

### 小名木川護岸整備(案) (元水上バス艇庫整備の考え方)



#### ●説明の概要

- ・小名木川の整備のため、「塩の道」の一環として整備していく。
- ・整備では、陸側に休憩施設や藤棚、ベンチ、植栽を配置し、川側は和船が停泊できるスペースを整備したいと考えている。船舶停泊スペースは、7～8／隻の和船が4隻停泊できる規模を計画している。船着場の形状・仕様で次の3タイプを考えている。

- ①固定栈橋式
- ②浮栈橋式
- ③固定栈橋・階段式

#### 【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆和船への高齢者や、ボート等の上下船を考えると、安全面から護岸はなるべく低く作ってほしい。10～15 cm程度が望ましい。
- ◇水面から護岸の高さは利用する方のご意見を参考に決めていきたい。
- ◆和船操船者の立場としては、浮栈橋が一番よい。高齢者、子供の乗船を考えると、階段式が一番危険だと思う。
- ◆閘門操作により水が進入した場合、水位が変動するため、この点も考慮してほしい。
- ◇確かに閘門操作により水位は変動するので、考慮はしたい。事務局側は、浮栈橋型では地盤改良した部分の前に栈橋を浮かべると、護岸法線よりも浮栈橋が前にでてしまい、通航する船舶に影響が出てしまう可能性がある。事務局としては、固定栈橋がよいと考えている。
- ◆小名木川に観光船が入ってきた場合、和船に影響はないか。また、スロープの整備はしないのか。
- ◇現在は通航ルールで引き波禁止を指導している。将来的に観光船等の利用が多くなれば時間的な棲み分けも調整する必要も出てくるだろう。また、スロープと階段の双方を整備したい。

- ◆整備予定地の上下流側の緑地は江東区が管理している。この部分とも一体的に整備できればよい。
- ◇江東区とも協議をしながらすすめていく。
- ◆内部河川の通航ルールは是非再度整備してもらいたい。現在でも工事船や観光船がボート横を通航している。ボートの場合、喫水が低いので右側通行が原則だが、大きな船がくると左側に避けなければならない箇所が結構ある。
- ◇管理する部門にて通航ルールの徹底をお願いしていきたい。
- ◆観光船等は他に停泊できる船着場があるため、今回整備する箇所（元水上バス艇庫）は、和船だけの停泊でもよいのではないか。
- ◇既存の船着場、小名木川の塩の道で整備した停泊可能箇所があるので、それらを使うことにより、棲み分けができればトラブルは調整できるのではないか。
- ◇江東区としても、和船の停泊場として利用したい。
- ◆観光船が事前に何月何日のこの時間にここを通るということがわかれば、水面利用者同士、安全が図れるのではないか。
- ◇スカイツリーが開業すると相当数の船舶が入ってくる。調整が効くかどうか未知数だが、そのような機会は当然必要になると思う。

## 旧中川を歩こう！マップ（仮称）の作成

### ●説明の概要

- ・大きさはA2ぐらいを想定している。
- ・表面に旧中川の全域の地図、裏側には名所旧跡の説明文や写真、旧中川への電車やバスでのアクセス方法、旧中川のいわれや河川整備の歴史などを掲載したい。

### 【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆下図の地図は最新の地図にしてほしい。
- ◇現在の地図は作業用のため、市販品を使用している。地図にも著作権があるため、実際に作るときには新しい地図で対応する。
- ◆荒川や隅田川との位置関係がわかるような全体図をいれてほしい。
- ◇全体図は作成する。
- ◆距離がわかるようにしてほしい。
- ◇現場に距離標を設置できるかは現在では断言できない。しかし、地図中に下流のある地点から何キロかということは掲載する。

## 江東内部河川の通航ルールについて

### ●説明の概要

- ・都民委員から、次のような提案があった。中学校でボート部活動を指導していることから次のような点をお願いしたい。
  - ①横十間川の整備では、直線のままで整備をお願いしたい。前回、護岸等を曲線化するという話があったが、ボート競技は 1000mの直線コースなので、その練習できる場所を残しておいてほしい。
  - ②2月の第2日曜日に和船の体験会を実施したい。
  - ③江東内部河川内を遊覧船がいつ航行するか、そのような情報を共有する場を設置していただきたい。

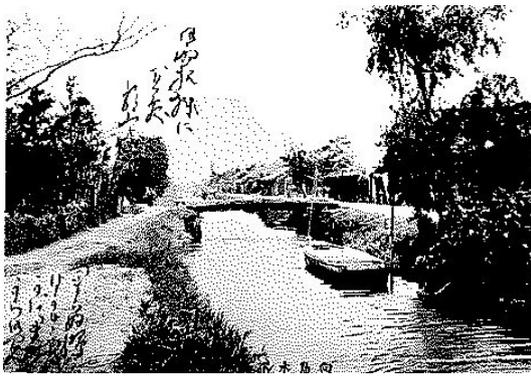
### 【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆和船の会でも、天神橋から柳橋経由で十間橋まで行き、再度天神橋に帰ってくるような運航コースを実験してみる。ただし、常時運航するとなると難しい面もある。
- ◇水面利用は、いろいろなグループが活動している。しかし、観光協会との連携などの広がりがいろいろと必要となってくる。このため、河川管理者だけでは進まない話がたくさん出てくる。
- ◇工事の時間や範囲は江東治水事務所でわかる。日曜日には工事をしないことにしているので、日曜日のイベントには影響がないと思う。
- ◆北十間川の工事はいつおわるかが気がかりだ。
- ◇北十間川はもともと川幅が 11m と狭い。その中に大きな船をいれると他の船は通れない。毎年2カ所程度で工事をしているが、あと3～4年はかかる。
- ◇横十間川の整備では、川の真ん中 15m は直線を確認したいと考えている。土壌汚染の関係で土砂の移動できない箇所が多々ある。これは調査をしながら工事を進めていくことになるので、ご理解いただきたい。また、曲線化して自然豊かな自然のような川にしてほしいというような要望が区からでてきている。
- ◇墨田区では、22年度は江東区と合同で舟運実験を実施する。それをふまえてタワーの開業にあわせて舟運を実施するのではないかと思う。
- ◇ボート練習は、松代橋からクローバー橋までの 1300m の直線区間は、川の真ん中 15m 部分が直線化されていて、その外側と護岸の間は凹凸があってもよいのか。
- ◆ボートは護岸がまっすぐな方がよい。大型船が来てボートが岸によることがあるが、護岸が曲線化されていた場合、どうなるか。岸側に寄った際に浅くなっていてボートの底を擦ることがある。曲線化して、ボートが岸が浅くなったところにしか避けられないと困る。

■「旧中川を歩こう！マップ」（仮称）の資料として提示したかつての旧中川の姿

明治末の木下川村付近 \*



木下川排水機場付近



昭和 41 年 旧平井 4 丁目 旧小沢製線所



現平井 7 丁目（製線所跡地に建つマンション）



昭和 41 年 旧平井 3 丁目 ライオン油脂工場



現ライオン油脂工場(平井 7 丁目)



昭和 41 年 旧小松川 1 丁目 東京日産化学



現在の小松川 1 丁目



\* 墨田区「墨田区史前史」（その他の 40 年代の写真は東京都、現在の写真はコンサルタント会社撮影）

## 流域連絡会の今後の予定

次回は3月末頃に会議を予定しています。

### 江東内部河川流域連絡会・委員名簿

		住 所 ・ 団 体 名	氏 名
都 民 委 員	個 人	墨田区（区内在勤）	正岡 久武
		江東区	黒木 正幸
		江東区	菊地 進一
		江東区	須永 俣子
		江戸川区	山内 久二
		江戸川区	池上 郁夫
		江戸川区	吉田 誠一
		江戸川区	高橋 政宣
		江戸川区	渡辺 秀郎
	団 体	江東区 江東区和船友の会	三好 寿雄
江戸川区 旧中川灯籠流し実行委員会		江頭 正恭	
		所 属 ・ 職 名	氏 名
行 政 委 員	墨田区都市整備部道路公園課長	田中 正明	
	江東区土木部水辺と緑の課長	荒木 猛男	
	江戸川区土木部計画課長	立原 直正	
	東京都環境局自然環境部水環境課長	新井 英人	
	東京都下水道局東部第一下水道事務所ポンプ施設課長	緒方 孝次	
	（公財）東京都公園協会水辺事業部調整課長	平林 俊実	
	東京都建設局河川部河川管理制度担当副参事	蛭間 浩之	
	東京都建設局河川部計画課長	東野 寛	
	東京都建設局第五建設事務所管理課長	橋本 春彦	
	東京都建設局江東治水事務所内部河川工事課長	西村 行正◎	
東京都建設局江東治水事務所水門管理課長	北島 義文		

◎ 座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：張元、永井

TEL：03-3692-4945（直通） FAX 03-3696-6499

Email-address：S0200225@section.metro.tokyo.jp

